

令和4年度 中央区立日本橋小学校 外部評価報告書
評価委員：今江委員長、柏原副委員長、多賀谷委員 報告書作成者：今江委員
評価時期 令和5年3月
<p>1 重点目標の評価</p> <p>重点目標1について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「授業の内容はよく分かるか」という設問の肯定的な回答が、90%以上であったことから、日頃から先生方が児童を励ましたり、個別に指導をしたりしていることが、児童の「分かる楽しさ、自分の能力が伸びる喜び」につながっていることが分かった。</li> <li>・保護者アンケート「教員は、学習内容が分かりやすく楽しい授業をしている」という設問の肯定的な回答が、87%であったことから、先生方が校内研究を通して、授業改善に取り組んでいることが分かった。</li> <li>・今後も、児童が分かる楽しさや伸びる喜びを実感し、より良い成長につなげられるように、先生方にも、今後一層、研究や研修等に励んでいただきたい。</li> <li>・3年生が日本橋の100年を話し合っていて、自分も知らないことも多く、よく学んでいることを感じた。</li> </ul> <p>重点目標2について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート「全ての児童が、ルールやきまりを理解し、自分たちで進んで守ろうとしている」という設問の肯定的な回答が75%、児童アンケート「学校の約束を守っていますか」という設問の肯定的な回答が94%であったことから、目標が達成されつつあることが分かる。引き続き、達成に向けて指導を続けてほしい。</li> <li>・校内の雰囲気明るく、児童の笑顔が多く見られたのは学校が楽しいところであることの表れと感じた。</li> <li>・幼稚園との交流を通して、年長児は4月に1年生になったときに、交流している5年生が6年生として関わってもらうことになり、より安心感をもって生活をスタートできると感じた。</li> </ul> <p>重点目標3について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート「地域人材の活用を通して、学校と地域の絆を深めている」という設問の肯定的な回答が92%であったことから、学校は保護者や地域の思いや願いに寄り添い、共によりよい学校を創造していこうとする機運を醸成していることが分かる。</li> <li>・3年ぶりの餅つきで、保護者も手探りで動いていたが、コミュニケーションを取り合い活発なよい活動になっていたため、今後も大事にしてほしい。</li> <li>・年末に地域を火の用心で回った時に、小学生・幼稚園児がたくさん参加し、地域に繋がっていくことに期待を感じた。</li> </ul>

## 2 今後の改善に向けた意見

- ・ 新型コロナ感染症の3年間の経過を経て、行事のスリム化が図られていると感じるが、教育活動の質の維持のために、PTAが手伝えるところがあれば積極的に参加していきたいと思う。
- ・ 2学期の通知表に替えて、学校での学習状況や学校生活の様子を、個人面談で伝えてもらったことは良かった。
- ・ 6年生に進級する前に対応について説明があると、保護者は安心すると思う。

## 3 その他の意見

- ・ 小学校は目標を達成している。教員の努力の表れだと思う。
- ・ 4年生がバリアフリーの授業発表後、互いのよいところを認め合っていたのが大変良かった。
- ・ 4年生がバリアフリーについて学び発表していたが、他学年もボランティアについては積極的に学んでいくとよいと思う。
- ・ 5年生と年長児との餅つき交流は、元気な姿が見られ、5年生の頼もしさと成長を感じた。

\* 3月末に各学校・幼稚園のホームページで公表していきます。